



第15回
生涯学習賞

平成27年度

亀岡市



生涯学習都市宣言

わたくしたち亀岡市民は人間の尊重と
地域社会の一員としての自覚のもと
常に いま 何をなすべきかを
問いかけ合いながら
生涯にわたり学び続け自己を高め
連帯の絆を強めることにより
生きる喜びと明るく豊かなまちに住む
喜びの持てる亀岡を目指し
ここに亀岡市を「生涯学習都市」
とすることを宣言する

昭和63年3月30日

生涯学習大賞「石田梅岩賞」

◆受賞者

あしなが育英会
(会長 玉井 義臣)

〈東京都千代田区〉



◇ 概要 玉井会長の母の交通事故死を原点にした交通事故遺児支援から、国の援助を頼らない学生募金やあしながさんによるファンドレイジングを両輪とするあしなが育英会を設立。災害・病気・自死遺児などあらゆる原因で親を亡くした子どもを対象に、物心両面での支援を行っている。約50年の運動で、遺児95,000人を高校・大学へ進学させ、1,000億円を超える募金を集めている。近年は、世界の遺児とのサマーキャンプやアフリカの遺児を世界の大学に留学させる100年構想を実施するなど国際的な運動を展開している。

◇ 選考理由 長年にわたり、災害や病気などで親を亡くした遺児の支援に国内外を問わず取り組み、奨学金による経済面での支援のみならず、心のケアにも大きな貢献を果たしている。
また、今後の日本において重要性をさらに増す異文化交流、相互理解につながる国際教育に先駆的な実践を行っている。
こうした、長年にわたる功績を高く評価するとともに深く敬意を表し、生涯学習大賞「石田梅岩賞」を贈呈する。

生涯学習奨励賞

◆受賞者 丹波／亀岡 ききょうの里を作る会

(会長 前田 逸郎)

〈亀岡市〉

◇ 概 要

平成 16 (2004) 年度に、明智光秀公顕彰会などが中心となり結成。明智光秀公の首塚とされる供養塔がある光秀公ゆかりの「谷性寺」の門前の休耕田を活用し、明智家家紋の「ききょう」の花約 5 万株を栽培し、地元宮前町猪倉地区住民を中心にした運営で、光秀ゆかりの地を盛り上げている。

◇ 選考理由

開園以来、地域の住民が一丸となり、年々活動の輪を広げながら熱心に運営に取り組み、明智光秀公ゆかりの歴史とロマンを核とした地域活性化やイメージアップに大きく貢献している。こうした一連の活動を高く評価し、生涯学習奨励賞を贈呈する。

生涯学習奨励賞

◆受賞者 夢コスモス園プロジェクト実行委員会

(実行委員長 木戸 邦考)

〈亀岡市〉

◇ 概 要

平成 12 (2000) 年に前身となる「丹波／亀岡『夢コスモス園』実行委員会」を結成し開園。平成 20 (2008) 年度に、旧実行委員会の解散に伴い、新たに「夢コスモス園プロジェクト実行委員会」を結成した。約 4.5 ヘクタールの休耕田を活用し、約 800 万本のコスモスなどの花園を創出し、4 万人を超える入園者を集めている。

◇ 選考理由

観光客の誘致のみならず、地域の人たちが企画から管理まで行い努力をされることで三世代交流に取り組むきっかけづくりとなるなど、地域振興やコミュニティ活性化、にぎわいづくりに大きな貢献をしている。こうした一連の活動を高く評価し、生涯学習奨励賞を贈呈する。

「生涯学習賞」表彰実施要領（要旨）

亀岡市は、生涯学習都市宣言の基本理念を広く内外に発信する表彰制度として「生涯学習賞」を設けています。「生涯学習賞」は、全国各地域の生涯学習によるまちづくりの推進に寄与するとともに、市民の生涯学習意識のさらなる醸成ならびに文化水準の向上に資することを目的としています。本市は、日本における生涯学習の先駆的推進者である石門心学の祖、石田梅岩翁の生誕の地として、また、男女共同参画を基本に生涯学習のまちづくりを進める地として生涯学習の意義を市内外に広く呼びかけるものです。

○ 生涯学習大賞『石田 梅岩賞』

長年にわたり生涯学習の調査・研究活動に成果を上げ、生涯学習の振興に著しく貢献し、実践をしている個人あるいは団体・グループを対象とする。

○ 生涯学習ゆう・あい賞『千 登三子賞』

“人間尊重”（亀岡市生涯学習都市宣言）にふさわしく、一人ひとりが互いに認めあい尊重しあう、人間の絆を深める生涯学習のまちづくりに精進し、男女共同参画社会の発展に大きく寄与している個人あるいは団体・グループを対象とする。

○ 生涯学習共生賞

お互いの多様なあり方を尊重し、クリエイティブ（創造的）に新しい物事を生みだすことに積極的に取り組み、生涯学習活動を通じ、自然環境保全を実践しており、先進的でユニークな事業を展開している個人あるいは団体・グループを対象とする。

○ 生涯学習奨励賞

生涯学習による地域に根ざしたまちづくりの事業を長期にわたり実践し、地域の活性化・イメージアップにつながる先進的でユニークな事業を展開している個人あるいは団体・グループを対象とする。

<選考委員> 委員長 上田 正昭（亀岡市名誉市民・京都大学名誉教授）
委員 安藤 仁介（世界人権問題研究センター所長）
上杉 孝實（京都大学名誉教授）
篠原 総一（京都学園大学学長）
山折 哲雄（宗教学者）

（50音順・敬称略）

「生涯学習賞」受賞者

- | | | |
|------|---|---|
| 第1回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習奨励賞 | エッソーレ・ジェルピ（イタリア）
特定非営利活動法人
全国生涯学習まちづくり協会（東京都） |
| 第2回 | 生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | 亀岡市吹奏楽団（亀岡市）
花と緑の会（亀岡市）
寄ろ会みなまた（熊本県水俣市） |
| 第3回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | 日野原 重明（東京都）
齋藤 吉子（亀岡市）
亀岡生涯学習市民大学運営委員会（亀岡市） |
| 第4回 | 生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | 都城ときめき大学（宮崎県都城市）
亀岡子どもの本研究会（亀岡市）
亀岡祭山鉾連合会（亀岡市） |
| 第5回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | 千 玄室・(故) 千 登三子（京都市）
特定非営利活動法人
東京雑学大学（東京都西東京市）
佐伯灯籠保存会（亀岡市） |
| 第6回 | 生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』 | 福田 雅子（大阪市） |
| 第7回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | フランソワ・マセ（フランス）
浦添市てだこ学園大学院（沖縄県浦添市）
亀岡油絵懇話会（亀岡市） |
| 第8回 | 生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | イーデス・ハンソン（和歌山県田辺市）
京都シニア大学（京都市）
亀岡市文化資料館友の会（亀岡市） |
| 第9回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習奨励賞
生涯学習奨励賞 | 赤松 良子（東京都）
社団法人 心学明誠舎（大阪市）
亀岡市食生活改善推進員協議会（亀岡市） |
| 第10回 | 生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』
生涯学習共生賞
生涯学習奨励賞 | 樋口 恵子（東京都）
特定非営利活動法人
亀岡 人と自然のネットワーク（亀岡市）
特定非営利活動法人
田舎スイーツ倶楽部（青森市） |
| 第11回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習共生賞
生涯学習奨励賞 | 佐渡 裕（兵庫県神戸市）
中川 重年（亀岡市）
秋津野塾（和歌山県田辺市） |
| 第12回 | 生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』
生涯学習共生賞
生涯学習奨励賞 | 神田 道子（東京都）
てるはの森の会（宮崎市）
長澤 ちか子（亀岡市） |
| 第13回 | 生涯学習大賞『石田梅岩賞』
生涯学習共生賞
生涯学習奨励賞 | 大谷 實（京都府宇治市）
特定非営利活動法人
プロジェクト保津川（亀岡市）
ますみ会（福井県大野市） |
| 第14回 | 生涯学習ゆう・あい賞『千登三子賞』
生涯学習共生賞
生涯学習奨励賞 | 坂東 眞理子（東京都）
亀岡市保津地域アユモドキ保全協議会（亀岡市）
いしがき少年少女合唱団（沖縄県石垣市） |

亀岡市民憲章

京都から西へ、老ノ坂を越えれば朝霧の晴れ間に亀岡盆地が広がる。豊潤な水脈は、田園や里山に多彩な実りをもたらし、舟運を支えてきた保津川は、いまでも溪流の舟下りで賑わっている。

古来、人びとは自然との調和やお互いの絆、家族のぬくもりを大切にしながら暮らしてきた。そこには石門心学が生まれ、円山応挙の芸術が育まれた。城下町のたたずまいを色濃くとどめ、華麗な山鉦が巡り、地域に根ざした芸能が息づいている。

そんな亀岡に生きるわたくしたち市民は、こうした平安の営みを未来につなぐことを願って、市民憲章を掲げます。

- 一 水と緑の恵みを大切にし、豊かな環境を次代に引き継ぐまちをつくります
- 一 いのちを尊重し、共に輝き、心の通いあう家族とまちをつくります
- 一 健やかな心とからだを育て、安らぎのあるまちをつくります
- 一 互いにまなび、高めた力を活かす生涯学習のまちをつくります
- 一 歴史と伝統を生かし、先人の知恵が香る文化のまちをつくります
- 一 世界にはばたく、豊かな感性と英知を育むまちをつくります
- 一 一人ひとりが主役となって、共に生き、ともに支え、平和と人権の根づくまちをつくります

平成17年11月3日 告示